日本維新の会 京都市議団
発行元 宇佐美けんいち事務所
〒606-0953 京都市左京区松ヶ崎海尻町14-9
info@usamikenichi.jp http://usamikenichi.jp
090-6322-3441
075-712-3810
R2年3月号

宇佐美賢一（うさみ）市会だより

2月予算定例会 市長に直言

代表質疑に宇佐美賢一が登壇

門川市政4期目のスタートとなる**代表質疑に登壇。**
それぞれ市民に直接選ばれた市長と議会の二元代表制の下、緊張感を持って、前向きで建設的な議論を行いました。

新型コロナウイルス感染症に関し市長へ緊急要望

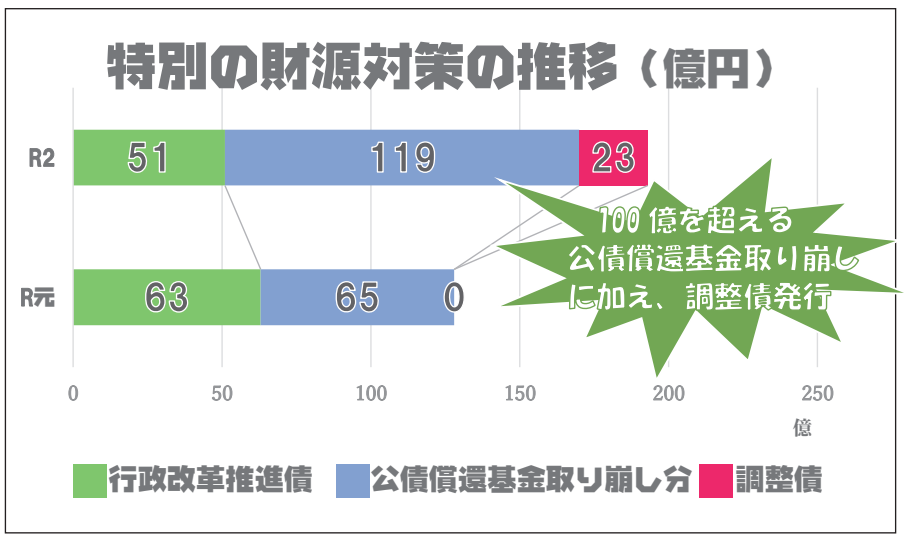
1月30日に京都で感染者が確認された際は、翌31日に議長から市長に対して迅速かつ適切な対応を求める緊急申し入れを行っておりました。今回、私の代表質疑の前日に首相から全国の学校へ休校要請があったことから、代表質疑の場で、感染症の拡大防止はもちろん、学校など子供に関わる事業、観光にとどまらず企業活動全般に影響が出ている現状を十分に把握し、特に子供の居場所づくりについて学校の臨時的活用を含め、臨機応変な対応をするよう市長へ求めました。

京都市の財政再建を門川市長へ迫る

過去12年間の門川市政について、私は、「様々な面で改革が進み財政改善は一定進むも他都市に比べて改善スピードに遅れがある」と議会で指摘してきました。今回の市長選において、門川市長は、「いままでの継続ではないチャレンジだ」との意気込みとともに財政再建について言及をされました。そこでこの度、私は門川市長へ直接その覚悟、また厳しい財政の中、政治姿勢として市長給与の2割カットは今後どうするのかを問いました。

令和2年度予算案では、一般会計で収支が合わずに特別の財源対策を193億円計上、そのうち将来世代の資金を先食いする公債償還基金の取り崩しが119億円、また過去に発行したことの無い調整債を23億円緊急避難的に発行するといったように一般会計は危機的状況です。国が返済に責任を持つ臨時財政対策債を除いた一般会計の実質借金残高も増える計画です。また、令和元年度の補正予算も提案されていますが、こちらも公債償還基金を21億8千万円取り崩し、さらに予備費の財政調整基金も0になるという、一般会計が、まさに、「すっからかん」といっても良い状況になります。

確かに、市民税収が堅調に増加しているのにもかかわらず、それ以上に国から下りてくる交付税が減る、国の税制改正で今まで京都市が収入してきた法人税の一部がごっそり国に召し上げられるなどの要素が大きいとはいえ、それも国の財政悪化を考えれば想像できていたことであります。縮み志向にならないと市長はよく発言されますが、他の大都市もこの間、別に縮み志向になっているとは思えません。



「この予算だけ見たら、選挙戦で門川市長が言及されていた財政再建というフレーズはいったいなんだったのだ、と市民の皆さんに思われてしまうのではないか。」と強く忠告。門川市長の決意を質しました。

門川市長からは、財政健全化について、政治家として約束したことについては必ず実現するとの決意が示され、数値目標を中期財政見通しの策定の中で明らかにするとのことでありましたので、しっかりフォローしてまいります。

また、市長給与2割カットを継続すると明言されました。

財政健全化のための有識者会議について

新たに設置される財政有識者会議では、議論の制限なく審議するよう求めました。

具体的には、公営企業については、株式会社化など経営形態の在り方、合併や統合、府と市で協調して解消する方策の検討を求めました。新たな課税や負担については、例えば住民票の無い空き家に対する固定資産税の減免解除や他都市住民の保有する空き家への課税強化を行い住宅の流通増と若者世代の定住促進につなげること、また、世界遺産を訪れる皆さんへの新たな負担金の創設を提案。敬老パスについて、約50億円の予算規模に膨らんでおり、また、地域によって使えない・使いづらいことによる政策効果の偏りの指摘や他の世代とのバランスをとる必要性など改めて議論をするよう求めました。今後、新税や敬老パスも聖域なく議論を行うと明確な答弁があり、これについても注視してまいります。

京都駅東部エリアに関して

崇仁地域に市立芸大が移転され、新しい京都の文化・芸術のシンボルゾーンとなることから、2025年の大阪・関西万博の際には新しい京都の玄関口として、世界への発信にその地域を活かすべきと指摘。京都の魅力を世界に発信する絶好の機会であるので京都全体で取り組むとともに、東部エリアについても工夫していくと答弁がなされました。

その他、中学校給食に関する実態調査とその結果審議へ注文。新しい風を吹き込む外部人材の積極的登用を提案。また長期未開園の公園予定地の全面開園（松賀茂公園、宝が池公園）への要望を行いました。

一口コラム

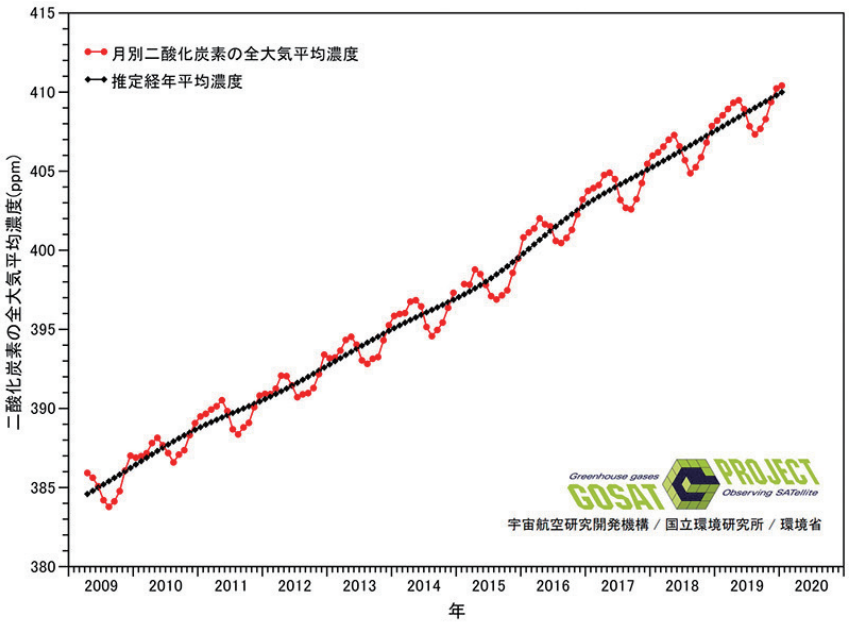
世界のCO_2濃度のデータを見る

～2050年CO_2排出正味ゼロを目指して～

国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）で採択された「パリ協定」で、世界は工業化以前からの世界の平均気温の上昇を1.5℃以下に抑えるための努力を追求することに合意をしました。これを受け、京都市は国内外の多くの自治体とともに、そのために必要な2050年ごろまでにCO_2の排出量をほぼ「正味ゼロ」にする脱炭素社会を目指す取り組みをスタートします。私、宇佐美賢一としても、この議論について積極的に取り組みをしてまいります。今後、この議会報告の紙面でも、適宜、一口コラムを掲載していきます。

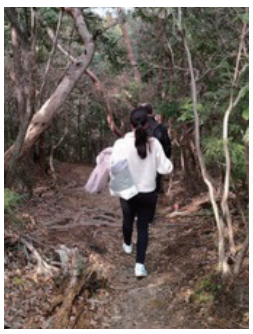
今回は、まず地球の大気の現状についてです。
CO_2濃度の上昇が世界の温暖化と異常気象を招いていると言われて久しいですが、実際の生活の中ではCO_2濃度を意識することはありません。では、本当はどうなっているのでしょうか。日本では、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、国立環境研究所、環境省のGOSAT PROJECTにおいて温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」（GOSAT ゴーサット）により地上から上空までの56,000点の観測を3日で行い地球大気全体のCO_2濃度が観測されています。

その結果は、グラフの通りで年々上昇していることは明らかです。2100年時点で450ppm以下に抑えれば気温上昇が2℃未満となる可能性が高いとされています。1.5℃ではさらに濃度を抑える必要があります。皆さまは、このグラフを見てどうお感じになったでしょうか。脱炭素社会の実現は、過去の継続ではない違う次元の取り組みが必要です。



活動報告　今春も大学生インターンと政務調査を行っています。

年に2回、10回目となる大学生インターンの活動です。若い世代の感覚で市政への提言を一緒に考えてもらっています。今回は、市民の方からの指摘に基づき、山の遭難対策としての標識の設置状況の実地確認、市バス車内で外国人が一日乗車券を買うことでダイヤが遅れることの原因と解消方法、保育園によりオムツや昼寝のお布団の取り扱いが異なる現状について等の取り組みを行いました。その質疑の結果は次号以降で。



生年月日	昭和45年10月11日
趣　味	ツーリング･釣り･食べ歩き
モットー	こうなったらいいなを見逃さず 世の中におせっかいでいたい
家族構成	妻（旧姓:今本）と子ども2人

平成 6年	京都大学法学部卒
平成 6年	三菱重工業入社
平成17年	㈲ウサミ商会 代表取締役
平成22年	行政書士開業
平成27年	京都市会議員選挙 初当選
平成31年	京都市会議員選挙 2期目当選

- 日本維新の会 京都市議団 代表幹事
- 京都府行政書士会 第4支部 会員
- 左京消防団 松ヶ崎分団
- 京都市左京ジュニア消防団
- 松ヶ崎小PTA会長（平成24年度）
- 下鴨中PTA会長（平成28年度）

小学校と同様の温かくて美味しい

中学校全員給食の実施を実現しよう!

京都市立の東山開睛館や京都大原学院など施設一体型小中一貫校では既に実施されています。

市政相談のお知らせ

市政相談を随時受け付けております。
090-6322-3441
までご連絡をお願いします。

バックナンバーはホームページをチェック!　宇佐美けんいち　検索

http://usamikenichi.jp